



TOSTEM 目隠し可動ルーバー(入隅納まり用) 取付け説明書

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

取付けされる方へのお願い

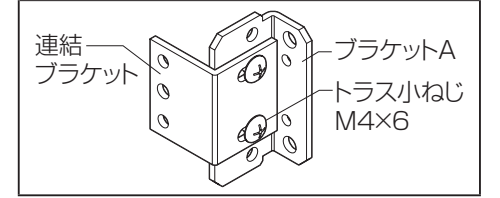
●本ブラケットを取付ける際は、目隠し可動ルーバーに同梱されている取付け説明書を必ずお読みください。

部品一覧

ブラケットA	連結ブラケット	トラス小ねじ M4×6	トラスタッピンねじ(1種) φ4×50
2個入	2個入	4本	4本

入隅納まり用ブラケット

[梱包仕様] ※各部品が一体化しています。



※入隅納まり側には、目隠し可動ルーバーに同梱されているブラケットセットの部品は指定箇所以外使用しません。

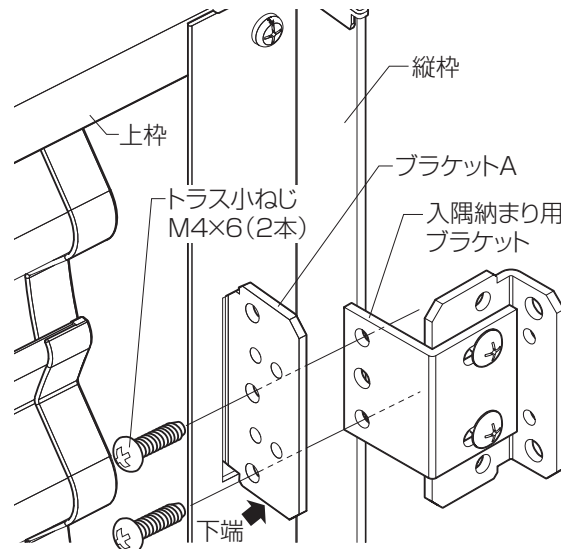
取付け順序

※標準納まり側と入隅納まり側でブラケットの使い方が異なりますので、ご注意ください。(参考納まり図参照)

※標準納まり側の取付け方については、目隠し可動ルーバーに同梱されている取付け説明書を必ずお読みください。

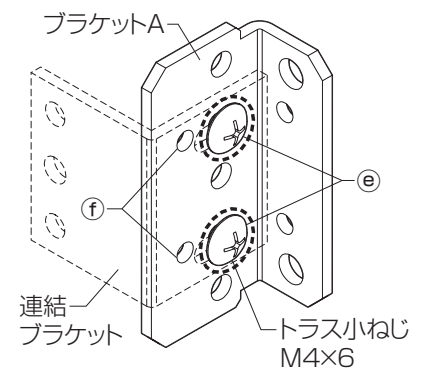
1 入隅納まり用ブラケットの取付け

- 入隅納まり用ブラケットを縦枠に取付けられているブラケットAの下端に合わせて取付けます。
- ※目隠し可動ルーバーに同梱されているブラケットセット内のねじを使用してください。
- ※取付けに必要なねじは各ブラケット2本です。



【入隅納まり用ブラケットの幅を調整する必要がある場合】

- 入隅納まり用ブラケットの調整幅は出荷時、最小寸法の11mmになっており、ねじは⑥で固定しています。
- その他の幅で調整したい場合は、参考納まり図と右下の表を参照し、必要に応じて、取付けるねじ穴を変更してください。



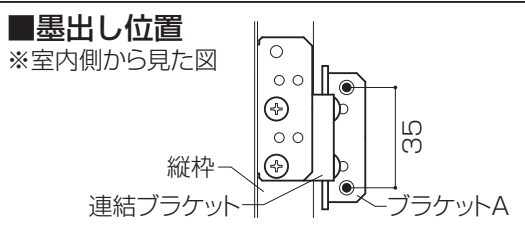
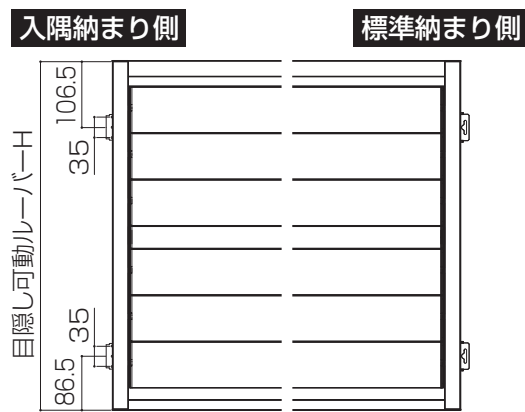
ブラケット調整幅	取付けるねじ穴
11~13.5	⑥
15~20	⑦

2 目隠し可動ルーバー本体の取付け

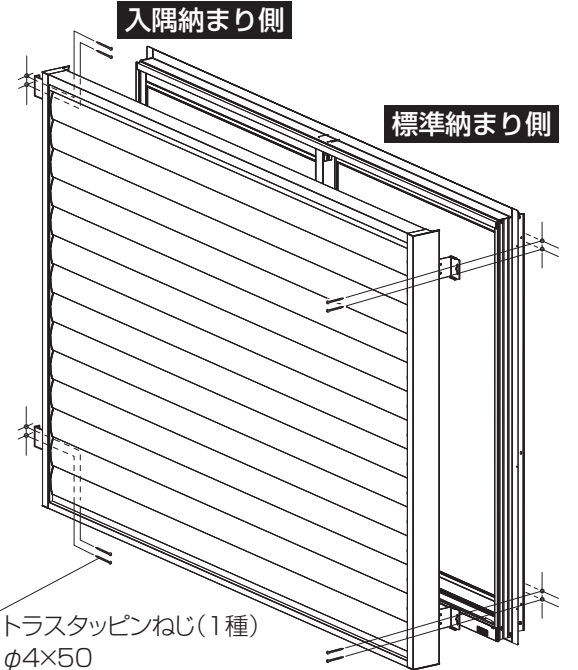
※①、②の注意事項については、目隠し可動ルーバーに同梱されている取付け説明書を必ずお読みください。

※参考納まり図内の【標準納まり側のブラケット出幅調整について】を参照し、標準納まり側のブラケット出幅を調整してください。

- ①目隠し可動ルーバー入隅納まり側の取付け位置の墨出しをします。
- ②墨出しした取付け位置に下穴(φ3mm)をあけ、コーキング材を充てんします。



- ③目隠し可動ルーバー本体をねじで固定します。
- ※目隠し可動ルーバー同梱の取付け説明書に記載されている仮固定方法による取付けは入隅納まり側には対応していません。
- ※ブラケットカバーは入隅納まり側には取付けません。



参考納まり図(半外付型)

【標準納まり側のブラケット出幅調整について】

- ②≥9.5mmになるよう、標準納まり側のブラケット出幅寸法を調整してください。
- ※②<9.5mmの場合、躯体ねじが止められなくなります。
- ※①寸法 = ②寸法 + 7mm
- ※入隅納まりの場合、①寸法は16.5mm以上になります。

お願い
●必ず柱等に取付けてください。

